

日中国交正常化50周年記念事業の中国における展開の在り方について

基本的考え方

- 中国において50周年記念事業を行う意義は、日中間の友好関係の維持・発展の重要性について、中国の人々に対し意識喚起・認識共有を促すことによる、両国の平和的な繁栄の維持・拡大。
- 気候変動問題への対応、感染症の蔓延等の世界的課題に直面。今後はこれらの課題に対応するため、日中双方が協力し合い新しい価値を創造していくことが重要。よって、基本テーマは **<未来へ向けて協創しよう；戮力同心，協創未来！>**
- 我々が50周年に祝意を示していることへの認知度の向上等の面的広がり拡大に重点を置くことが望ましい。

記念ロゴマークの創設

- 記念ロゴマークの自由な使用权（来年1年間）を中国国内の希望する法人又は個人に付与
- ホームページへの掲載、社用名刺、社外向けパンフレット、社外プレゼン資料等への印刷、日本物産フェア等のイベント会場での掲示、商品包装への印刷等の使用が可能
- 認知度の向上、日中友好の雰囲気づくりを期待
- ロゴマークのデザインはコンテスト方式の公募により選定
- ウェブサイトを通じた申請受付、使用料の受領、ロゴマークの電子的供与等の事務は、中国日本商会から外部委託
- コンテストの賞金、委託費及び商標登録の費用に充てるため、使用料（100元）を徴収（目標：2,000者）
- 11月中の申請受付開始を目指す

50周年記念コア事業

- 来年、北京において、できれば通年にわたって人々の関心を引き付けられるイベントの開催等の事業を実施
- 企画公募により委託事業者、事業内容を選定
- 企画公募時の事業規模は、中国日本商会の繰越金流用（248万元）及び中国日本商会会員向け寄附金募集（目標：250万元）の計500万元（約8,500万円）を想定
- この外、北京以外の日系企業等に対しても寄附金の呼び掛け
- 受託事業者は、マスコットキャラクターを制作し、地方のイベント等においても活用
- 全国的に統一感のある事業展開を図る

実施体制

- 記念ロゴマークに係るデザイン公募・選定、運用事務委託事業者の公募・選定は、中国日本商会が9月～10月に実施
- 50周年記念事業在中国実行委員会を早急に立ち上げ、50周年記念コア事業に係る寄附金の呼び掛け、同事業委託事業者の公募・選定（9月～11月）、中国国内の50周年記念事業に関する情報収集・発信を行う